

木々津沖町内自主防災会

2006年に生活安全推進協議会として数名で発足し、2010年に自主防災会として改組した組織です。最初は単独の組織として、町内会の一年任期の班長役員を退任後逐次メンバーに加え、年々会員を増やしていく中、そのうち最終的には町内会の全戸が防災会員になりうることや、現時点でも発災時には全世帯が対象になることをふまえ、2018年に町内会活動部の防災会として町内会組織に取り込まれました。

活動組織としては町内会班長が防災各活動班長を兼務する形での組織としましたが、1年任期の班長では実際の発災時の対応が出来難い状況なので、以前の自主防災会で各活動班を担ってきた人達を防災サポートメンバーとして登録（現在23名）し、平時や非常時の防災活動の中心を担ってもらっています。

町内会班長役員が新任となる春先には、防災啓発活動としての机上訓練を実施し、夏の町内交流会では炊出し訓練として焼きそば約300食を作成配布し、11月初めころには防災避難訓練として、呼びかけ避難訓練、情報収集訓練、救急救命・消火体験を主としてロープワーク、車いす、応急処置、簡易担架、等のいくつかを体験訓練を組み合わせ実施しています。2023年度はテント内での煙体験を加えました。



炊出し訓練

机上訓練



救急救命・消火体験

テント内での煙体験

